

小中一貫教育だより

東条学園小中学校 体育大会



【 閉会式で挨拶する学園会副会長 】

9月27日、東条学園小中学校で、体育大会が行われました。2学期が始まり、暑い日々の中、練習した成果を十分に発揮していました。閉会式では、「部活動感謝の言葉」を各部活動の主将が部旗を持ち集まる中、ソフトテニス部主将がPTCA代表副会長に「初めてする部活動で不安の中、たくさんのことを教えてくださったのは、

【部活動感謝の言葉をPTCA代表副会長に伝える主将代表】

先生方です。練習の中で基礎的なことから精神的な面についても指導してくださいました。また、私たちの意見が合わず壁ができた時には、チームみんなの話に耳を傾け、一緒に解決しようとしてくださったこともありました。同学年のみんなとは、悲しいことも辛いことも一緒に分かち合いながら歩んできてことができました。お互いに支え合い、励まし合ったことはかけがえのない宝物です。(中略)大会前など一番応援してくれ、忙しい中、送迎してくれた保護者の方々へ、私たちが楽しんで部活動を続けることができたのは、保護者の方の支えがあったからです。」と感謝の言葉を述べました。最後に学園会副会長が「学年を越えて応援しあう学園生の姿を見て、小中一貫校の良さである一体感を感じることが出来ました。今年は『真剣勝負～勝利に向かってつながる9つの思い～』をスローガンに1～9年生が協力してこの体育大会を走り切りました。勝って嬉しい人も負けて悔しい人もいます。それは全力で、そして真剣に取り組んだから生まれた感情です。だから、スローガンを達成できたと言えると思いませんか。この体育大会が成功できたのも、学園生をまとめ上げた実行委員や、運営を支えてくれた先生方、そして体育大会を楽しみに待っていてくれた保護者の皆様のお陰です。この経験をこれからの学園生活に活かしていけば、東条学園は更に良いものになっていくと思います。今日の体育大会を1つの出発点として、また新しい一歩を踏み出していきましょう。最後に実行委員へ、『青春』でした。ありがとうございました。」と締めくくりました。

2人の言葉にもあったように、1～9年生が心を一つに頑張った素晴らしい体育大会でした。

滝野地域小中一貫校建設予定地 発掘調査 滝野中1年生 見学会

滝野地域小中一貫校建設工事に伴う下滝野・奥瀬遺跡の発掘調査の結果、縄文時代と平安時代から室町時代にかけての集落跡が見つかりました。滝野中学校1年生は、兵庫県まちづくり技術センターの専門員から説明を受けながら、見学を行いました。これまで、中学校のテニスコ



【ドングリの貯蔵穴を見学】



【藤原氏の荘園跡を見学】

ートがあった身近な場所での発見に、生徒も興味深く説明を聞いていました。縄文時代のドングリの貯蔵穴を見ながら、「他にどんな食べ物があったのか。」と質問するなど、当時の生活の姿を想像していました。また、「この場所は平安時代、計画的につくられた藤原氏の荘園跡です。」という説明を聞くと「藤原氏？社会科で習った。すごい。」と驚いていました。生徒からは「縄文土器にさわれたのが、嬉しかった。」「呪符木簡がとても印象に残りました。」と感想がありました。3500年前の歴史的な発見に触れるひと時になりました。